

**ワインツーリズムに取り組む世界最高のワイナリーを選出するアワードで日本初選出
「ワールド・ベスト・ヴィンヤード 2020」
「シャトー・メルシャン 梶子ワイナリー」が世界第 30 位、ベストアジアに選出！
～同時にメルシャンが輸入販売する 4 ワイナリーも選出～**

メルシャン株式会社（社長 長林道生）の「シャトー・メルシャン 梶子ワイナリー」（長野県上田市）が、2020 年 7 月 13 日（月）に発表された、ワインツーリズムに取り組む世界最高のワイナリーを選出する「ワールド・ベスト・ヴィンヤード 2020」にて、世界第 30 位、およびベストアジアに選出されました。

同時に、当社が輸入販売するワイナリーから、5 位に「ロバート・モンダヴィ・ワイナリー」（米国）、18 位に「ゴンザレス・ピアス・ボデガ・ティオペ」（スペイン）、20 位に「オーパス・ワン・ワイナリー」（米国）、50 位に「トラピチェ」（アルゼンチン）と、4 つのワイナリーが選出されました。

●「ワールド・ベスト・ヴィンヤード」について

「ワールド・ベスト・ヴィンヤード」は、英国の「ウィリアム・リード・ビジネス・メディア（William Reed Business Media）」が主催する、「世界最高のワイナリーベスト 50」を選出するアワードで、世界中の旅行者にワインに関連する素晴らしい体験を提供することを目的として開催しています。世界最高峰のワイン・コンペティション「インターナショナル・ワイン・チャレンジ」（IWC）を主催する同社が、2019 年に初開催し、今年で 2 回目の開催となります。

同社は「世界のベストレストラン 50」も主催しており、同アワードは同様の手法でワイナリーを選出しています。ワイン、食、旅行業界を中心とした世界各国の 500 名以上の専門家が、ワイナリーでのツアー内容、テイスティング、雰囲気、ワインの品質、食事、スタッフ、景観、コストパフォーマンス、名声や立地など多岐にわたる基準から、それぞれ 7 つのワイナリーを投票します。こうしてノミネートされたワイナリーの中から、ベスト 50 が選ばれます。2020 年は、1800 以上のワイナリーがノミネートされ、1 位から 50 位が選ばれました。

●「ワールド・ベスト・ヴィンヤード 2020」に選出された世界の名門ワイナリー

フランス・ボルドーの「シャトー・マルゴー」（22 位）、「シャトー・ディケム」（31 位）、「シャトー・ムートン・ロートシルト」（33 位）のような歴史ある著名なワイナリーや、オーパス・ワン・ワイナリー（20 位）、ロバート・モンダヴィ・ワイナリー（5 位）といったワインリゾートにおいて世界を代表するナパヴァレーで成功しているワイナリーなど、世界の名門ワイナリーが名前を連ねています。このような中、当社の「シャトー・メルシャン 梶子ワイナリー」が 30 位に選出されると同時に、ベストアジアに選出されたことは、同アワードの中でも大きなニュースとなり、「日本の初選出は、世界のワイナリーの多様性を象徴する快挙」として、米国メディアにも取り上げられました。

●「シャトー・メルシャン 梶子ワイナリー」選出の理由（公式発表より抜粋）

①日本最古の民間ワイン会社をルーツに持つワイナリー

「シャトー・メルシャン」は 1877 年設立の日本最古の民間ワイン会社をルーツに持つ※日本ワインのリーディングブランドであり、勝沼、桔梗ヶ原、梶子と 3 つのワイナリーから、素晴らしい品質と“フィネス & エレガンス”を表現したワインを生み出し、世界でも高い評価を得ています。

「シャトー・メルシャン 梶子ワイナリー」は、2019 年にオープンした「シャトー・メルシャン」の中では最も新しいワイナリーで、長野県上田市の陣場台地に位置する広大な畑の高台にあり、ブドウ畑と自然の壮大な景観を楽しむことができます。

※「シャトー・メルシャン」は 1877（明治 10）年 8 月に設立された法人組織・大日本山梨葡萄酒会社をルーツとしています。



② 広大なブドウ畑を見下ろせる、壮観なテラス

「シャトー・メルシャン 梶子ワイナリー」では、10 種類以上のワインが提供され、地域産のおつまみも楽しめます。ワイナリーには絶景のテラスが設置され、浅間山や蓼科山を眺め、眼下に広がる畑を吹き抜ける風も体感しながら、屋外テラスでワインをゆっくりと楽しむことができます。ワイナリーには一本木公園が隣接し、春には満開の桜を、夏から秋の時期には、季節とともに移りゆく美しい畑を見下ろすことができます。



③ 8 種類の多様な品種を栽培、趣向を凝らしたツアー

標高 650m に位置する「梶子ヴィンヤード」では、シャルドネ、メルローを主体とした、8 種類のブドウ品種を栽培しています。さらにワイナリーツアーは趣向を凝らしており、中でも「ウォーキング＆ランチツアー」では、美しい畑を歩きながら、ブドウが栽培されている区画で、その区画で栽培されている品種で造られたワインを楽しむことができます。また、その他に日本固有品種「甲州」や日本交配品種「マスカット・ベリーA」を用い「シャトー・メルシャン 勝沼ワイナリー」（山梨県）で醸造されているワインも、同ワイナリーで楽しむことができます。

●「シャトー・メルシャン」からの喜びのメッセージ

■ シャトー・メルシャン ゼネラル・マネージャー 安蔵光弘

「日本のワイナリーが、海外の名だたるワイナリーとともに「ワールド・ベスト・ヴィンヤード 2020」に選ばれたことを、とてもうれしく感じています。日本ワインの将来につながるように、また「日本を世界の銘醸地にする」を合言葉に、ワイン産地としての「日本」を世界にアピールしていきます。



■ シャトー・メルシャン 梶子ワイナリー長 小林弘憲

長野県上田市の皆様と作り上げてきた「シャトー・メルシャン 梶子ワイナリー」が世界的な評価をいただきました。有名なワイナリーとともに選出され、身が引き締まる思いです。これからも地域に愛され、ともに成長していけるワイナリーでありたいと考えています。そして「梶子を、シャトー・メルシャンを、日本を、世界の銘醸地にしたい」という熱い思いでワイン造りに励みます。



<当社が輸入販売するワイナリーからの祝福の声>

「ロバート・モンダヴィ・ワイナリー」(米国)

私たちのパートナーであるメルシャンの「シャトー・メルシャン 梶子ワイナリー」の受賞を心よりお祝い申し上げます。お客様への感動体験の提供、高品質なワイン造りに関して我々モンダヴィと同様の想い、情熱を持つメルシャンのようなパートナーと仕事ができることを大変光栄に思います。

「ゴンザレス・ピアスー・ボデガ・ティオペペ」(スペイン)

我々の長年のパートナーでもあり大切な友人でもあるメルシャンが、「ワールド・ベスト・ヴィンヤード」で 30 位に選ばれたこと、心から祝福いたします。お客様の体験を最高なものにするために、メルシャンが努力したことへのふさわしい評価だと確信しています。

「オーパス・ワン・ワイナリー」(米国)

日本のワイナリーとして初めてとなる受賞を心からお喜び申し上げます。

「トラピチェ」(アルゼンチン)

皆様の快挙を祝福します。我々の長きに渡るパートナーシップの下で両社が一緒にランクインしたことを心から誇りに思います。これを機に、更に両社で一丸となって目標に向かって頑張っていきましょう。

● 今回選出された当社が輸入販売する 4 ワイナリー

5 位「ロバート・モンダヴィ・ワイナリー」(米国)

創始者であるロバート・モンダヴィ氏は、設立当時にはまだ新興地であったカリフォルニアで高級ワイン造りに取り組み、「カリフォルニアワインの父」と呼ばれました。カリフォルニアワインの知名度を世界レベルに押し上げた「ト・カロン・ヴィンヤード」と、ワイナリーでのサマー・コンサート開催などの実績が高く評価され、北米トップ及び全体の 5 位に選出されました。

18 位「ゴンザレス・ピアスーボデガ・ティオペペ」(スペイン)

ゴンザレス・ピアス社の歴史は 1835 年に遡り、シェリーを世界的な銘酒へと育んだ立役者的存在です。世界最大規模のシェリーのコレクションを保持し、銘醸地ヘレス・デ・ラ・フロンテーラの歴史あるアイコン的なワイナリーであることから、18 位を受賞しました。

20 位「オーパス・ワン・ワイナリー」(米国)

1979 年、米国のロバート・モンダヴィとフランスのシャトー・ムートン・ロートシルトの提携によって生まれた「オーパス・ワン」は、カリフォルニアワインの名声の確立に大きく貢献しました。その「オーパス・ワン」とセカンドワインの「オーバーチュア」という偉大なワインの存在と、モダンさとクラシックさが共存した秀逸な建築物としてのワイナリーが評価され、20 位を受賞しました。

50 位「トラピチェ」(アルゼンチン)

1883 年、ドン・トリブリオ・ベネガス氏によってアンデスの東麓に位置するアルゼンチン・メンドーサ州に創設されました。特にマルベックの栽培と醸造の先駆者となり、アルゼンチンワインの発展に大きく貢献しました。アンデス山脈を望む素晴らしいロケーションのワイナリーと、ガストロノミー界で高く評価されている「Espacio Trapiche レストラン」の存在により、50 位にランクインしました。

メルシャン株式会社は、ワイン事業スローガン「ワインのおいしい未来をつくる。」のもと、ワインのある豊かな時間を通じて、人と人とのつながりを楽しんでいただけるよう、さまざまな提案を続けていきます。